



美麻地域づくり会議

〒399-0101 長野県大町市藤原11日10番地
TEL 0267-29-2011
URL http://amamiya.info/

市町村合併協議を通じて、平成16年から、旧美麻村の国際交流事業のボランティアを中心として始まった活動に、地域全体で自治組織の制度設計を行い、平成18年に地区内の自治会、公民館、学校PTA、保育園保護者会、農産団体、地区社協、企業、ボランティア団体等、趣向に賛同する45の団体と個人により設立されました。

美麻地域づくり会議は、住民に共通する「この地で心豊かに暮らしたい」という思いを持続可能な地域づくりの原動力に

1. 地区全体で行なう行事等の実施に協力しよう。
2. 地域で困っていることはお互いに理解し解決しよう。
3. 行政が伝えきれない地域の情報を発信しよう。
4. 美麻の将来に何が必要か考えよう。

を活動目標に行政と協働した地域づくり活動を行っています。

【具体的な活動内容】

- ・住民が学校運営や授業に参加し、地域の子を育てるコミュニティスクール活動(美麻市民科、ジュニア給食)
- ・地域の景観保全について高齢者児童少活動(園日再生活動、ひまわり5000本プロジェクト等)
- ・住民自らが地域情報を発信する住民アンケート活動(広報紙発行、HP運営、地域看板の制作等)
- ・交流人口の増加と住民交流を一緒に行う道の駅活性化イベント「美麻市」の創設
- ・地域の伝統文化を継承する活動(祭文化伝承活動、地区の祭囃子復活)
- ・移住・定住人口の増加につながる活動(コンフレット、ガイドブック作成)



地域と学びの町大学 美麻市民科(いしのみ)科(コミュニティスクール)



手づくりのぬいぐるみで中野町美麻づくり(祭文化伝承の集)



中部の未来創造大賞



手づくりのぬいぐるみで中野町美麻づくり(祭文化伝承の集)

美麻地域づくり会議の活動10周年の記念にと、第17回中部の未来創造大賞に応募したところ、地域の皆さんの日々の小さな活動の積み重ねを評価いただき最高賞である「大賞」をいただくことができました。

12月16日に名古屋市中区で表彰式があり、式典では、住民が主体となつて運営する「コミュニティ・スクールの取り組みが、移住定住対策の成果にもつながっている点などが高い評価をいただいたことのお話がありました。受賞を糧に、これからも地域づくり活動を推進していきましよう。

会長 前川浩一

中部の未来創造大賞とは

中部の未来創造大賞は、国土交通省中部地方整備局が、中部5県(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)を対象に開催している地域づくりを応援する賞です。



平成20年に閣議決定された国土形成計画(全体計画)では、多様な主体の参画による地域の課題の解決等を目的とした「新たな公」を基軸とする地域づくりの視点が盛り込まれており、「中部の未来創造大賞」では、このような観点から、民間、行政の垣根を越えた幅広い分野で取り組まれている活動を顕彰することにより、中部地域の「地域づくり」に役立て、新しい時代にふさわしい未来の中部の発展と啓発を促進することを目的としています。

- 【大賞】 美麻地域づくり会議(長野県)
「地域のデザインを住民自治で」
- 【優秀賞】 フラワーパーク江南友の会(愛知県)
- 【優秀賞】 うしづま水辺の楽校世話人会(静岡県)
- 【優秀賞】 株式会社 加藤建設(愛知県)
- 【特別賞】 長良川環境レンジャー協会(岐阜県)



第17回 中部の未来創造大賞表彰式

第17回「中部の未来創造大賞」大賞 平成20年12月16日 於: 麒麟ホテル名古屋

住民ディレクター活動

地域情報の発信

広報誌の発行

『広報おおまち』に載らない地域情報を発信するため、広報誌を発行することにしました。発行に際しては、住民主体で継続できる仕組みづくりを検討し、平成18年7月に「広報みあさづくり通信」を創刊しました。



創刊号で誌名を公募し『みあさづくり通信』に決定

ホームページ開設

閉鎖となる『美麻村ホームページ』に替わり『美麻地区のホームページ』を作ろうと始まったプロジェクトでは、専門的なアドバイザーをいただく中で、誰もが自由に情報発信できるホームページを作るため、試行錯誤の末、平成19年1月にWiki（ウィキペディア）等で使われるシステムを用いたホームページ『美麻Wiki』を開設しました。

市民メディアを作る

地域の情報発信を研究してきた広報部会では、どのような方法で情報発信をしていくか？検討を重ねた結果、地域の人たちが、自ら情報発信をする「住民ディレクター」という手法で情報発信をすることとして、発祥の地である熊本県山江村「マロン・テレビ」の皆さんから指導していただき、平成20年10月26日、美麻地区文化祭



で第1回公開収録を行い、美麻地区の市民メディア「オオマチ・ミアサ・テレビ」が誕生しました。その後、番組公開収録は、文化祭の恒例イベントとなりました。現在は、美麻小中学校の総合発表とあわせ、生徒もスタッフに生徒も加わって楽しく収録をしています。番組は、インターネットで配信するほか、大町市CATVへも番組として提供し、地域の情報発信を行っています。

地域自治組織の活動検討では、合併後、行政が行ってきた広報誌、ホームページ、CATVなどの運営が大町市に移行したら、誰が地域の情報を地区内外に発信するのか議論となりました。過疎化、少子高齢化が進む美麻地区は、多くの人が移住していることで地域が継続していることや、地域づくりの情報を共有するために、住民が自ら地域の情報発信をする活動が始まりました。



印刷機導入後は組み込みも、広報部会が手作業で行いました。

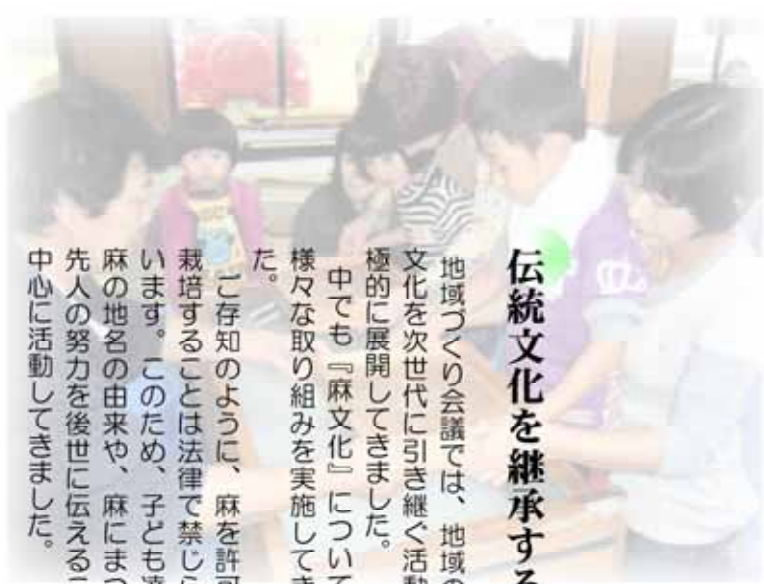
10年間に57号を発行し、延べ500人以上の方々より寄稿をいただいています。これからもよろしくお願ひします。



地域の特色ある事業

地域の文化を 子ども達に

伝統文化継承活動



伝統文化を継承する

地域づくりの会議では、地域の伝統文化を次世代に引き継ぐ活動を積極的に展開してきました。中でも『麻文化』については、様々な取り組みを実施してきました。

「ご存知のように、麻を許可なく栽培することは法律で禁じられています。このため、子ども達に美麻の地名の由来や、麻にまつわる先人の努力を後世に伝えることを中心に活動してきました。」

麻和紙で作る卒園証書

昭和の時代、学校の卒業証書は、美麻福祉企業センターで作られていた麻和紙だったという話から、保育園保護者会より、卒園証書を麻和紙で作りたいという提案がされました。

(以下、広報記事より)

保護者の念願であった、「親子で麻和紙の卒園証書を作りたい！」との願いが、美麻地域づくり会議の方々が奔走してくださったおかげで、今回実現することが出来ました。

幸い、信州松崎和紙の腰原社長さん自ら指導していただけることになり、初めて和紙づくり体験が真剣にかつ楽しく行われました。用意してくださったもみじやケヤキ等の木の葉を漉きこみ、ハガキづくりもして大喜び。

美麻地区では、かつては、おにいさん、おねえさんも自分で卒業証書を作り、今でも大切にしていると言う話をお聞きます。

今回、親子で作った証書も貴重な体験とともに語り継がれていくことでしょう。



麻の歴史

麻布が正倉院に残されていた

大和朝廷が支配権を広げた4世紀後半、国・郡・里の制度が導入され、租・庸・調という納税制度が確立しました。美麻村も信濃国の安曇郡となり、布などを「調」として献上していたようです。

「信濃国安曇郡前科の真羊」と記された麻布は、現在も正倉院に残っています。

江戸時代、盛んだった麻栽培

美麻村は松本藩大町組となり、麻の栽培が盛んに行われ美麻・八坂方面で生産される麻は「山中麻」の名で全国に販売されていきました。あまりに需要が高まったため、慶長14年(1609年)には他

国から入ってくる麻商人による「山中麻」乱売を禁止する命令が出たほどです。

美しい麻の産地、美麻村誕生

美しい麻の産地として知られたことから、その名のおり美麻村が誕生したのは明治8年のこと。

美麻は山間の寒冷地。地形も気候も作物を育てることが難しい環境の中で、麻は過酷な環境に最適な作物だったので。



美麻は村名のとおり青麻の生産が盛んであった。その時の青麻三貫目の送り状(写真・左)
明治41年4月、美麻村製麻組合による製麻風景(写真・右)
(村制施行百周年記念誌
美麻村の百年より)



大町市となって初の訪問団受入れ



メンドシーノ 姉妹都市交流事業



2007



大町市長、議長が訪問して
姉妹都市提携を継続

2006



チェルシー・ロビンソンさん
大町高校に1年間留学

2004



ボランティアネットワー
ク結成。ミニコミ紙
「くるま座」創刊

1993



交流事業第1回訪問団が
メンドシーノを訪問

1980.5.30



美麻村とメンドシーノが
国際姉妹村の締結

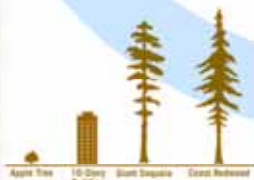


交流事業は、フレンド
シップパークで「一緒
に野球をしませんか」
との手紙から始まった。

～海を越えて～

姉妹村の米国メンドシーノ村と日本国美麻村民は
太平洋を隔てた両国民の平和を希求し
そこに住むすべての生物が
永遠に共存できる環境保護のために
このプレートを奉納する

昭和57年7月4日



1992

25TH ANNUAL
SISTER CITY EXCHANGE

姉妹都市交流事業 25周年

美麻からの留学生が日本初の
メンドシーノ・ガイドブック作成



2016



2008



和太鼓の交流始まる。アート
&クラフトショー始まる。

2015



芸術交流との連携
が本格化。



太鼓づくりワークショップ開催

2014



2009

2013



美麻小中学校とメンドシーノK-8
スクールが国際姉妹校となる。

2010



2011

2012



ボランティアの事前学習
にチェルシーさん来校



マイク・エヴァンスさんが
1年間美麻に滞在し交流を
深める

姉妹都市提携30周年
相互交流事業20周年

